

富山県農業・農村振興計画の進捗状況の概要

目標年度:2026 年度(中間年:2021 年度)

～将来にわたり発展する「競争力の高い農業」と「豊かで美しい農村」の実現をめざして～

《本県農業・農村の現状と課題》

■農産物生産・・・米政策改革、低調な園芸生産等
⇒ 水田フル活用による需要に応じた生産推進 等

■農業経営・生産基盤・・・農家数の減少・高齢
⇒ 農地集積、法人化、担い手育成、農地の大区画化 等

■販路開拓・拡大・・・農産品の知名度不足、市場縮小等
⇒ ブランド力強化、国内外での販路拡大 等

■農村・中山間地域・・・農村集落等の活力低下
⇒ 機能の維持保全、都市農村交流の拡大 等

Table with 5 main columns: 推進施策, 令和元年度の取組内容, 目標指標の状況, 基準年 (H28/2016), 実績 (R1/2019), 直近実績と基準年対比 (R1/H28), 中間年目標 (R3/2021). Rows include categories like 'I 消費者に求められる競争力のある農産物の生産' and 'II 農業経営の高度化・複合化と生産基盤づくり'.

推進施策	令和元年度の取組内容	目標指標の状況	基準年 (H28 2016)	実績 (R1 2019)	直近実績と 基準年対比 (R1/H28)	中間年目標 (R3 2021)
<b>Ⅲ 農産物のブランド力向上と販路の開拓・拡大</b>						
<b>6 食のとやまブランド戦略の強化による販路の開拓・拡大</b> (1) 付加価値の高い商品・サービスの開発 (2) 食のとやまブランドの推進と販路開拓 (3) 農林水産物等の輸出促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>○富山米新品種「富富富」の都内アンテナショップでの先行販売会の開催や CM 放映など知名度アップに向けた展開</li> <li>○「食のとやまブランドマーケティング戦略」に基づく県産食材の周年供給とブランド力強化の推進</li> <li>○首都圏等のホテル、量販店でのフェアや全農とやまと連携した東京での「富山米フェア」の開催、商談会でのマッチングによる販路拡大など、食の魅力の発信、PR、ブランド力向上を推進</li> <li>○県産農林水産物の魅力向上を目指すお土産品としての「富のおもちかえり」商品の追加と販促活動の実施</li> <li>○輸出の重点品目やその目標などを示した「富山県産農林水産物等品目別輸出促進方針」に基づき、セミナーや商談会、国際食品見本市への出展など、農林水産物等の輸出を支援</li> <li>○6次産業化や農商工連携等により特色ある商品の開発や販路拡大を支援</li> <li>○国際認証GAP(ASIAGAP等)の取得を支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○6次産業化販売金額(加工・直売分野)</li> <li>○「富のおもちかえり」商品の販売金額</li> <li>○県食品研究所との共同研究開発による商品の販売金額</li> <li>〃 商品化数</li> <li>○首都圏への野菜出荷量</li> <li>○県産食材提供協力店舗数(県内)</li> <li>○輸出に取り組む事業者数</li> </ul>	⑳ 107 億円 3,341 万円  26 億円 59 商品 536t 1,580 店舗 30 社	㉑ 120 億円 3,335 万円  26.8 億円 66 商品 548t 1,842 店舗 45 社	112.1% 99.8%  103.1% 111.9% 102.2% 116.6% 150.0%	160 億円 1 億円  27 億円 71 商品 1,000t 1,850 店舗 40 社
<b>7 新鮮で安全な食の提供</b> (1) 食の安全確保の推進 (2) 食育と地産地消の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>○県食品安全推進本部を核とし、意見交換会や食品安全フォーラム等を開催</li> <li>○「とやまパーク」トークセッションの開催やリーフレットの作成等により普及啓発を推進</li> <li>○富山県食育推進計画に基づく県民運動としての食育の推進</li> <li>○マスコミやHP、イベント等での食育情報の発信</li> <li>○「新・とやま地産地消推進戦略」に基づく地産地消の推進</li> <li>○県産品購入ポイント制度の実施などにより、県民ぐるみの地産地消運動の推進</li> <li>○食品ロス削減のため、消費者向け啓発 CM の制作・放映</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○食品表示が適正な店舗の割合</li> <li>○学校給食での県産食材活用量(野菜類)</li> <li>○直売所及びインショップにおける農産物等販売額</li> <li>○食品ロス削減のための取組みを行っている県民の割合</li> </ul>	97.8% 510t 35.1 億円  62.9%	96.7% 534t 35.3 億円  80.9%	98.9% 104.7% 100.6%  128.6%	100% 700t 45 億円  80%

**Ⅳ 豊かな資源を活用した魅力ある農村の創造**

<b>8 豊かで魅力ある美しい農村の形成</b> (1) 快適で豊かな農村環境の整備 (2) 集落ぐるみによる地域資源の有効活用 (3) 都市との交流の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「元気とやま」むらづくり推進大会、多面的機能推進協議会研修会の開催等により、多面的機能支払制度の県民への周知、活動指導者の情報交換を推進</li> <li>○「農村振興・環境保全優良活動表彰」の実施等により、農村環境保全意識を啓発</li> <li>○農業集落排水事業により、農村下水道の機能強化を推進</li> <li>○地域用水環境整備事業により、農業用水を利用した小水力発電所の整備を推進</li> <li>○グリーンツーリズム活動組織と旅行・観光業者との連携の支援等により、都市と農山村の交流を推進</li> <li>○「とやま帰農塾」を開講(9講座)し、田舎暮らし体験等を通じた移住を促進</li> <li>○「とやまの田舎」交流支援事業により、交流地域活性化重点地域における首都圏等の都市住民との交流拡大を推進</li> <li>○都会の若者の視点での地域の課題解決策を提案する「とやま農山漁村インターンシップ」事業を1地域で実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○農村環境保全活動の参加者数</li> <li>〃 集落数</li> <li>〃 取組面積</li> <li>○農村景観を活かした地域づくり協定締結件数</li> <li>○棚田を保全する活動件数</li> <li>○農業用水を利用した小水力発電の整備箇所数</li> <li>○農林漁業等体験者数</li> <li>○交流地域活性化重点地域(指定数)</li> </ul>	66,756 人 1,406 集落 41,279ha 261 件  30 件 24 箇所  58,877 人 46 地域	67,325 人 1,402 集落 41,058ha 269 件  31 件 31 箇所  ㉒ 68,199 人 48 地域	100.9% 99.7% 99.5% 103.1%  103.3% 129.2%  115.8% 104.3%	68,000 人 1,500 集落 44,000ha 270 件  35 件 35 箇所  64,500 人 51 地域
<b>9 中山間地域の活性化</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○中山間地域等直接支払制度等の活用により、荒廃農用地の増加防止と棚田保全等を推進</li> <li>○侵入防止柵・捕獲用わなの設置助成、ジビエ利活用の推進、「富山県イノシシ被害防止対策方針」に基づいた鳥獣被害防止対策を推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○中山間地域直接支払協定締結集落数</li> <li>○農業・農村サポーター活動参加者数</li> <li>○荒廃農地面積</li> <li>○イノシシによる農作物被害額</li> </ul>	376 集落 145 人 324ha 3,885 万円	382 集落 106 人 353ha 8,330 万円	101.6% 73.1% 109.0% 214.4%	400 集落 195 人 増加させない 2,000 万円以下